

令和4年7月15日

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉会長 小野祐司

(国立研究開発法人科学技術振興機構 主任専門員)

「工業系高校人材育成コンソーシアム千葉（以下コンソーシアム）」令和4年度第1回運営委員会及び総会を開催しました。なお、運営委員会はメール開催、総会を令和4年6月21日にリモート開催しました。

1

令和4年度 第1回運営委員会及び第1回総会

総会の内容は、以下の通り。

(1) 議案

- 第1号議案 令和4年度第1回運営委員会の結果報告について
- 第2号議案 令和3年度事業報告及び会計収支決算報告について
- 第3号議案 令和4年度事業計画（案）及び会計収支予算（案）について
- 第4号議案 令和4年度会長等の選出について
- 第5号議案 コンソーシアム設置要綱の一部改正について
- 第6号議案 新規会員の入会について（岡本硝子株式会社）

(2) 協議

- ・コンソーシアムにおける今後の活動

【小野会長挨拶】

コンソーシアム会員の皆さん、こんにちは。お元気で御活躍のことと拝察致します。

このコロナ禍による生活必需品等の値上りなど経済に大きな打撃がある中、コンソーシアムの事業に深い御理解と、大きな御支援を賜りまして誠にありがとうございます。

本コンソーシアムも会員の皆様との交流もなかなか深まりませんが、オンラインで繋がるチャンスを活かして皆様の声を是非お聞かせ願いたいと思います。

皆様の声を基に開設に至りました、「姉崎高等学校ものづくりコース」・「天羽高等学校工業基礎コース」も3年目を迎えました。実習等で生徒たちがお世話になっているとのこと、誠にありがとうございます。来年度はこれらのコースで学んだ生徒の皆さんが就職・進学でお世話になることと思います。引き続きよろしく願いいたします。

さて、コンソーシアムも9年目となりました。事務局から話があると思いますが、これまでの経過等をまとめていただきました。後日皆様にお届けできるかと思えます。

公立高等学校の入学志望者数をみますと、専門高校、工業高校の志望者が依然少なく、本コンソーシアムでもこれまでいろいろ発信等して参りましたが、これまでの一方的な発信を再考し、本質を見極めた発信方法を研究する必要性を痛感しています。

引き続き本コンソーシアムの御支援を賜りたいと考えています。

お集まりの皆さんとお目にかかれましてを願い、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(1) 議案

【第1号議案】運営委員会の結果報告について（令和4年6月4日電子メール開催）

電子メールによる運営委員会を開催したところ、総会議案の第2号議案から第6号議案まですべてについて、全員賛成により承認されたことを報告します。

【第2号議案】令和3年度事業報告及び会計収支決算報告について

第2号議案—1 令和3年度事業報告

1 第1回運営委員会・第1回総会

- (1) 日 時 令和3年5月31日(月) 運営委員会メール発信
令和3年6月16日(水) 総会メール発信

(2) 開催方法 両方ともメール開催

2 令和3年度 高校生理科研究発表会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催とした。

開催期間は、令和3年9月23日から令和3年9月25日まで。

3 第1回ワーキンググループ会議

ワーキンググループ会議を10月に予定していましたが、アンケート調査の結果をコンソーシアム便りに掲載をもって代えさせていただきました。

4 職員研修「課題研究基礎コース」

(1) 日 時 令和3年10月15日(金)

(2) 開催方法 WEB開催(Zoomによるリモート開催)

(3) 講 師 千葉大学大学院工学研究院 特任助教 小岩 健太 氏

5 千葉県産業教育フェア・千葉県特別支援学校ものづくりフェア

(1) 日 時 令和3年10月24日(日) 10時~15時

(2) 会 場 きぼーる(アトリウム)

6 第36回総合技術コンクールへの後援

(1) 日 時 令和3年11月27日(土)

(2) 会 場 千葉県立京葉工業高等学校

7 第2回運営委員会・第2回総会

(1) 日 時 令和4年2月15日(火)

(2) 時 間 運営委員会: 12時~13時

総 会: 13時~14時

開催方法 リモート開催

8 生徒研究発表会

(1) 開催期間 令和4年2月14日(月)から2月25日(金)

(2) 開催方法 WEB開催

9 コンソーシアム便り

○第25号(令和3年 7月16日(金) 発刊)

1 令和3年度第1回運営委員会及び総会の内容(議事)

第1号議案 令和2年度事業計画及び会計収支決算報告について

第2号議案 令和3年度事業計画(案)及び会計収支予算(案)について

第3号議案 令和3年度会長等の選出について

第4号議案 新規会員の入会について(内外マリアブル株式会社)

2 中学生向け工業系高校PRポスターについて

○第26号(令和3年12月20日(月) 発刊)

1 令和3年度職員研修会について

2 令和3年度千葉県高等学校産業教育フェアについて

3 「コロナ禍の採用活動について」のアンケート調査

4 令和3年度第37回千工研総合技術コンクールについて

○第27号(令和4年3月28日(月) 発刊)

1 令和3年第2回運営委員会及び総会の内容について

2 第8回生徒研究発表会について



第2号議案—2・3 令和3年度会計収支決算報告（千工会・双葉電子）

令和4年5月16日付で、一般財団法人千工会様と双葉電子記念財団の会計監査に関しましては、関係諸帳簿、領収書等の会計監査を監事にしていただきました。結果、収入、支出とも妥当であり、正確に処理され適正であると西孝一朗監事と黒川康宏監事に認めていただきました。

【第3号議案】令和4年度事業計画（案）及び会計収支予算（案）について

第3号議案—1 令和4年度事業計画（案）について

- 1 運営委員会・総会
 - (1) 令和4年6月開催予定 第1回運営委員会・第1回総会
 - (2) 令和5年2月開催予定 第2回運営委員会・第2回総会
- 2 事業計画
 - (1) 実践力育成事業
 - ア 令和4年9月24日（土）開催予定 高校生理科研究発表会（参考）
 - イ 令和4年11月開催予定 総合技術コンクール（参考）
 - ウ 令和5年2月 開催予定 生徒研究発表会
 - (2) 情報発信・広報事業
 - ア 令和4年10月開催予定 産業教育フェアへの参加（きぼーる）
 - イ 小中学校への理解促進の検討
 - ウ コンソーシアム便り発刊
- 3 職員研修 令和4年9月開催予定
- 4 ワーキンググループ会議 令和4年10月開催予定



第3号議案—2 令和4年度会計収支予算（案）について

昨年度は一般財団法人千工会様より助成金10万円を頂き有意義に使わせていただきました。今年度も10万円を助成していただき、昨年度と同様、事務運営に係わる費用として使わせていただきます。

また、公益財団法人双葉電子記念財団様から昨年度は、12万円を頂き有意義に使わせていただきました。今年度は、6万円増額していただき18万円を協賛していただきました。小・中学校等への出前授業の補助や来年2月に予定しています生徒研究発表会に関わる参加者の旅費や運営費として有意義に使わせていただきます。

【第4号議案】令和4年度会長等の選出について

設置要綱では、「会長・副会長の任期は1年とし、再選を妨げない。会長副会長は運営委員会からの推薦により、総会において決定する」となっており、監事についても「コンソーシアムに監事2名を置く。運営委員会からの推薦により総会において決定する」となっております。

総会に先立ち、運営委員会をメール開催し、本年度も引き続き会長として、現在国立研究開発法人・科学技術振興機構の小野祐司様、副会長として千葉大学・高等教育センターの足立欣一様、また、監事に県立京葉工業高等学校・校長の黒川康宏様と新たにJFEスチール株式会社東日本製鉄所労働人事部千葉労働人事室・室長の小野智之様を推薦していただき、その後、総会で承認されました。

【第5号議案】コンソーシアム設置要綱の一部改正について

（役員）

- 第5条 コンソーシアムに、会長、副会長2名を置く。~~副会長2名まで置くことができる。~~
- 2 会長、副会長は、運営委員会からの推薦により、総会において決定する。
 - 3 会長は、コンソーシアムを代表し、統括する。
 - 4 会長、副会長の任期は1年とし、再選を妨げない。
 - 5 会長に事故あるときは、副会長がその職務を代理する。
 - 6 コンソーシアムに、監事2名を置く。監事は、コンソーシアムの会計を監査する。監事は運営委員会からの推薦により総会において決定する。

（総会）

- 第6条 コンソーシアムの総会は、各団体に所属する者のうち、団体の代表者が推薦する者をもって構成する。
- 2 総会は、会長が必要に応じて招集する。
 - 3 総会の議長は、会長が務める。
 - 4 総会は、次の事項を議決する。
 - (1) 本要綱の改正
 - (2) その他、本会の運営に関して重要な事項
 - 5 総会の議決は、出席者の過半数による。
 - 6 総会は、必要に応じてリモート開催、メール開催をすることができる。

（運営委員会）

- 第7条 コンソーシアムに、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は、企業、大学、関係機関、行政機関、工業系高等学校の各部門から選出する委員をもって構成する。
- 3 運営委員会は、会長が必要と認めたときに開催する。
- 4 運営委員会は、必要に応じて、書面 **リモート開催** 又は電子メールによる開催とすることができる。
- 5 運営委員会は、コンソーシアムへの入会申し込みを承認するほか、コンソーシアムの運営に関して重要な事項について総会に提案し、及び会長が必要と認めた事項について議決する。

【第6号議案】新規会員の入会について（岡本硝子株式会社）

＜岡本硝子株式会社の紹介＞

光・ガラス分野における研究開発を行う特殊ガラス製品メーカーです。蒸着技術等を駆使してガラスの高付加価値化に取り組み、時代のニーズを捉えたヒット商品を相次いで生み出しています。歯科医の手元を照らし影を作らない「デンタルミラー」、プロジェクターの光源用反射鏡として用いられる熱を持たない「コールドミラー」は、国内外ともに高いシェアを誇っています。

企業理念は、特殊ガラスと薄膜で「光の時代」をリードし、お客様が感動する商品・サービスを、提供し続けます。経営理念は、常に地球と時代をみつめるダイナミックな経営を行い、社員一人ひとりの人生の充実と会社の発展を目指します。また、行動規範は、始まりは、いつも私から。それ、私がやります。Yes, I Can. そして、本社・工場は、千葉県柏市十余二380番地です。

＜コンソーシアム事務局からの推薦理由ほか＞

千葉県教育委員会の委員である岡本硝子株式会社の岡本社長自ら、コンソーシアム会員になり工業教育に貢献したいとの申し入れが教育政策課の担当者にありました。

コンソーシアム事務局で検討した結果、コンソーシアム会員の中にガラス製品のメーカーがないこと、及び工業教育への貢献に向けて積極的にコンソーシアム会員になることを希望したことや企業理念・経営理念などがしっかりしていることがコンソーシアム事務局の推薦理由です。

（2）協 議

・コンソーシアムにおける今後の活動について（事務局）

1 企業連携の継続

主に課題研究での連携の強化

2 高校の受験者数の増加に向けて

皆さんの協力もあり、卒業生の就職内定率は、100%が続いている。しかし、工業高校の入試は、募集定員をほとんど満たしていない状況になりつつある。そこで、次の活動を考えている。

（1）小・中学校等への出前授業

県立高校改革推進プランに「工業教育への理解を深めるために、小・中学校 等と相互に交流し、ものづくりへの興味・関心を高めるなど、積極的な広報を展開します。」と記載されている。コンソーシアムとしても手助けができないか思考中であるが、資金面で、材料費や交通費などを検討中である。

（2）各工業高校にアンケート

小・中学校への出前授業の実態調査アンケートを実施予定である。

（2）その他

千葉県商工労働部産業人材課より千葉県の高等学校における工業教育の質を高め、ものづくりの実践力を育成するため、ちばテクの有する設備や職業訓練指導員の知見を活かし、課題研究に対して助言等で協力したいとの意見がありました。

2

コンソーシアム事務局よりお知らせ

令和4年6月27日（月）千葉県教育委員会富塚教育長が千葉工業高等学校にご来校され、授業参観と本校関係教員との面談を行いました。コンソーシアム事務局からは、岡崎コーディネーターが活動報告を行いました。

また、コンソーシアム立ち上げから令和3年度末までの8年間の活動をまとめた報告書が完成しましたので、富塚教育長にお渡ししました。

工業系高校人材育成コンソーシアム千葉事務局

事務局長（千葉工業高校教頭）川口 憲治郎

TEL:043-264-6251 FAX:043-268-5524